

4 重点的な取組み

(1) 建築物で重点的に進めること（問10）

重点的にバリアフリー化の必要がある建築物としては、「病院、診療所等医療施設」が64.4%、「百貨店、スーパーマーケット等商業施設」が55.5%と多く、次いで「飲食店、料理店等」34.4%、「老人ホーム等福祉施設」31.3%、「官公庁施設」31.0%、「ホテル、旅館等宿泊施設」30.3%と続いている。（図表Ⅱ-4-1-①）。

性別にみても、上位1、2位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-1-②性別）。

性・年代別では、男女とも20代、30代で「百貨店、スーパーマーケット等商業施設」が最も多く、60代、70代で「病院、診療所等医療施設」が多いことが特徴的である（図表Ⅱ-4-1-②性・年代別）。

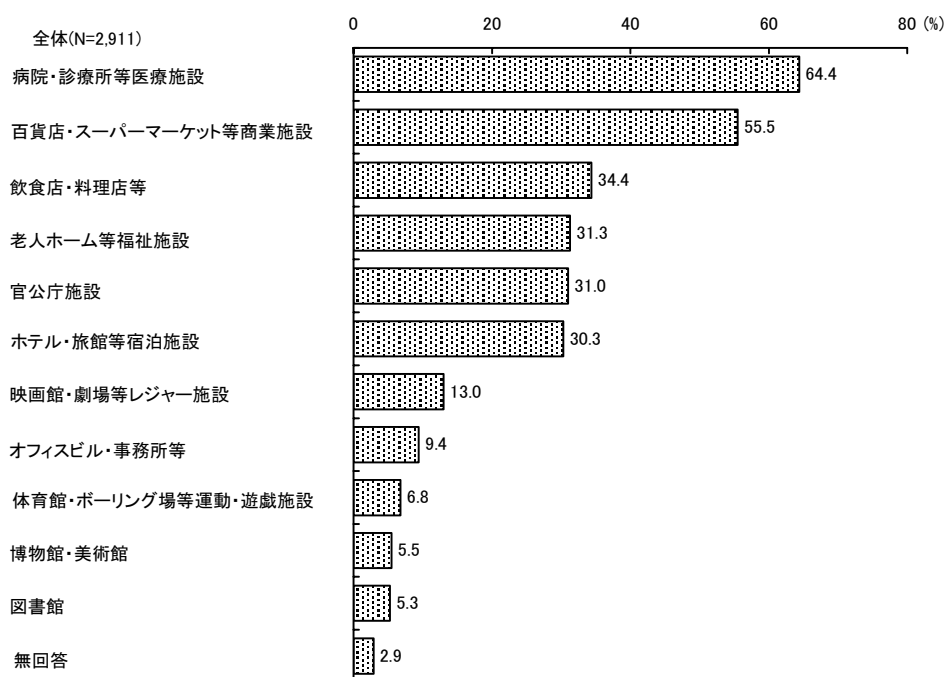
障害の有無別では、ありの場合、3位に「老人ホーム等福祉施設」が入っており、全体で3位の「飲食店・料理店等」は6位になっている（図表Ⅱ-4-1-②障害の有無別）

要介護者の有無別にみても、上位1、2位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-1-②要介護者の有無別）。

性・未就学児の有無別にみると、男性の場合、子どもの有無にかかわらず上位1、2位の順位は変わらないが、女性でありの場合「百貨店、スーパーマーケット等商業施設」が1位となり、また「飲食店、料理店等」が50%を超えていることが特徴的である（図表Ⅱ-4-1-②未就学児の有無別）

エリア別、都市規模別ともに、上位1、2位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-1-②エリア別、都市規模別）。

図表Ⅱ-4-1-① 重点的にバリアフリー化を進めて欲しい建築物の種類（全体）



図表Ⅱ－４－１－② 重点的にバリアフリー化を進めて欲しい建築物の種類

(全体、性別、性・年代別、障害の有無別、要介護者の有無別、未就学児の有無別、エリア別、都市規模別)

		病院・診療所等医療施設	百貨店・スーパーマーケット等商業施設	飲食店・料理店等	老人ホーム等福祉施設	官公庁施設	ホテル・旅館等宿泊施設	映画館・劇場等レジャー施設	オフィスビル・事務所等	運動・遊戯施設 体育館・ボウリング場等	博物館・美術館	図書館	無回答	
全体 (N=2,911)		64.4	55.5	34.4	31.3	31.0	30.3	13.0	9.4	6.8	5.5	5.3	2.9	
性別	男性 (n=1,271)	63.4	51.7	32.3	34.0	34.0	32.7	12.7	11.0	8.5	4.4	5.5	2.5	
	女性 (n=1,584)	65.4	59.3	36.3	29.2	28.4	28.4	13.5	8.3	5.6	6.3	5.3	2.8	
性・年代別	男性	20代 (n=118)	53.4	55.1	48.3	31.4	20.3	26.3	23.7	16.1	12.7	3.4	4.2	1.7
		30代 (n=173)	56.6	59.0	43.9	23.7	25.4	34.7	18.5	15.0	10.4	4.6	4.0	1.2
		40代 (n=190)	57.9	52.6	42.6	29.5	29.5	34.2	14.2	13.7	8.4	1.6	5.8	0.5
		50代 (n=307)	64.7	51.1	30.9	28.8	39.6	33.1	11.9	11.5	7.2	3.6	5.8	2.5
		60代 (n=205)	66.8	50.5	22.8	39.4	37.1	35.8	9.4	6.2	8.5	5.9	6.8	3.3
		70歳以上 (n=557)	73.2	45.4	20.0	47.3	41.0	28.3	5.9	8.8	6.3	6.3	4.9	4.9
	女性	20代 (n=157)	47.8	59.2	53.5	19.1	17.8	29.3	29.9	14.6	11.5	5.1	3.8	1.3
		30代 (n=246)	57.3	67.9	47.6	20.3	21.5	28.0	20.3	13.4	6.1	4.1	6.1	0.4
		40代 (n=281)	61.9	59.4	45.2	23.8	26.0	32.7	17.1	7.8	7.1	4.3	5.3	1.1
		50代 (n=341)	68.6	62.8	35.5	29.6	32.6	27.6	12.6	9.4	4.4	6.7	5.9	0.9
		60代 (n=302)	73.8	57.0	25.8	34.1	36.1	25.2	6.0	4.6	3.3	9.9	6.3	4.3
		70歳以上 (n=225)	74.1	49.0	18.0	43.5	29.4	27.8	3.1	2.7	4.3	6.3	3.5	8.6
障害の有無別	障害あり (n=563)	69.1	48.1	25.2	36.1	34.3	31.3	7.5	6.6	5.7	6.2	6.2	5.9	
	障害なし (n=2,283)	63.3	57.6	36.9	30.0	30.0	30.0	14.4	10.2	7.2	5.3	5.1	2.1	
要介護者の有無別	いる (n=144)	64.5	54.6	38.0	31.9	32.1	30.2	11.6	7.2	5.8	4.7	5.8	3.0	
	いない (n=1,100)	64.3	55.9	34.3	31.1	30.6	30.1	13.1	9.7	7.1	5.6	5.2	2.8	
未就学児の有無別の	男性	あり (n=194)	58.3	54.9	38.2	30.6	32.6	30.6	13.9	13.2	9.7	4.9	4.2	2.8
		なし (n=1,339)	64.2	51.3	31.6	34.3	34.2	32.5	12.6	10.6	8.4	4.4	5.7	2.5
	女性	あり (n=361)	61.3	69.1	53.1	20.6	23.2	23.2	17.5	7.2	5.7	2.6	6.2	1.5
		なし (n=2,468)	65.8	58.1	34.6	30.0	29.0	29.3	13.1	8.4	5.5	6.9	5.0	3.0
エリア別	北海道・東北 (n=386)	67.6	50.5	32.1	34.7	33.2	34.7	12.4	9.3	6.2	4.7	5.4	1.6	
	関東甲信越北陸 (n=1,163)	65.0	56.8	34.7	32.3	27.9	29.4	13.8	8.3	6.9	6.2	5.5	2.9	
	中部 (n=377)	66.0	52.3	37.4	33.4	31.8	30.0	10.1	11.4	5.8	5.6	4.8	3.7	
	近畿 (n=422)	59.7	57.6	33.4	26.5	32.9	31.3	13.3	10.7	5.9	4.3	6.9	3.8	
	中国・四国 (n=245)	66.5	55.9	25.7	32.2	37.6	25.7	11.8	8.6	9.0	5.7	4.9	4.1	
	九州 (n=318)	60.7	57.9	40.3	26.7	31.1	30.8	14.5	10.1	8.2	5.0	3.5	0.9	
都市規模別	大都市 (n=587)	61.0	57.9	37.5	26.1	26.1	29.1	17.5	12.9	6.1	6.0	5.6	2.7	
	地方都市 (n=727)	65.6	59.0	37.1	27.5	26.5	29.7	12.8	10.6	7.6	7.6	5.9	2.1	
	小都市A (n=670)	65.2	56.4	30.1	32.5	35.5	30.6	12.4	9.0	6.9	5.1	4.9	2.2	
	小都市B (n=650)	63.7	52.6	34.5	35.8	34.0	29.7	11.7	6.3	7.2	4.5	5.1	4.0	
	過疎地域 (n=277)	67.9	46.2	30.3	39.0	35.0	35.0	7.9	6.9	5.4	2.2	4.7	4.0	

(2) 公共交通機関で重点的に進めること（問11）

重点的にバリアフリー化の必要のある公共交通機関としては、「鉄軌道駅」70.2%が最も多く、次いで「バス」61.0%、「鉄軌道車両」54.7%、「バスターミナル」49.9%、「航空旅客ターミナル」14.6%、「航空機」12.4%が続いている（図表Ⅱ-4-2-①）。

性別にみても、上位3位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-2-②性別）。

性・年代別にみると、上位3位の順位に少し変動があり、女性の20代、30代で「鉄軌道車両」が「バス」を抜いて2位に挙げられていること、女性70歳以上の場合「バス」が1位であり、3位にバスターミナルが挙げられていることが特徴的である（図表Ⅱ-4-2-②性・年代別）。

障害の有無別にみても、上位3位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-2-②障害の有無別）。

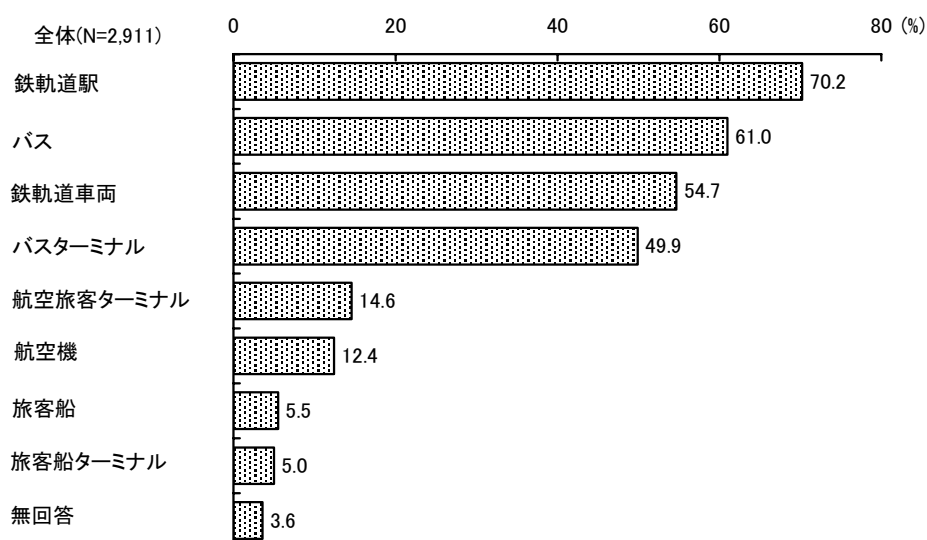
要介護者の有無別にみても、上位3位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-2-②要介護者の有無別）。

未就学児の有無別にみると、男女ともなしの場合は、上位3位の順位は変わらないが、ありの場合2位に「鉄軌道車両」が挙げられ、「バス」が3位になっている（図表Ⅱ-4-2-②未就学児の有無別）。

エリア別にみると、北海道・東北では3位に「バスターミナル」入っているが、それ以外のエリアでは上位3位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-2-②エリア別）。

都市規模別にみても、上位3位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-2-②都市規模別）。

図表Ⅱ-4-2-① 重点的にバリアフリー化を進めて欲しい公共交通機関の種類（全体）



図表Ⅱ-4-2-② 重点的にバリアフリー化を進めて欲しい公共交通機関の種類
(全体、性別、性・年代別、障害の有無別、要介護者の有無別、未就学児の有無別、エリア別、都市規模別)

			鉄 軌 道 駅	バ ス	鉄 軌 道 車 両	バ ス タ ー ミ ナ ル	航 空 旅 客 タ ー ミ ナ ル	航 空 機	旅 客 船	旅 客 船 タ ー ミ ナ ル	無 回 答
全 体 (N=2,911)			70.2	61.0	54.7	49.9	14.6	12.4	5.5	5.0	3.6
性別	男 性 (n=1,271)		69.8	60.3	56.5	51.1	15.5	11.7	6.3	6.2	2.8
	女 性 (n=1,584)		70.8	61.8	53.4	48.9	14.0	13.1	4.9	4.2	3.9
性・年代別	男 性	20 代 (n= 118)	71.2	61.9	58.5	50.8	15.3	16.9	4.2	4.2	0.8
		30 代 (n= 173)	64.7	64.7	62.4	50.3	11.6	16.2	7.5	5.8	1.2
		40 代 (n= 190)	65.8	63.7	60.5	45.3	17.4	14.7	3.7	6.3	0.5
		50 代 (n= 307)	71.2	57.9	55.8	55.0	14.7	9.0	6.5	7.2	3.2
		60 代 (n= 205)	73.9	58.0	54.7	52.1	16.9	9.4	8.1	6.8	3.6
		70 歳以上 (n= 557)	68.8	59.5	50.2	50.7	16.1	9.3	5.9	5.4	5.9
	女 性	20 代 (n= 157)	62.4	58.0	59.2	47.8	15.9	26.8	6.4	6.4	1.3
		30 代 (n= 246)	72.0	58.9	63.4	50.4	9.8	17.9	4.9	2.0	1.2
		40 代 (n= 281)	71.9	61.2	58.4	53.4	12.8	11.7	5.3	5.3	1.8
		50 代 (n= 341)	75.4	58.4	54.8	51.9	17.3	13.2	5.6	4.7	2.1
		60 代 (n= 302)	73.5	62.6	46.7	46.0	15.2	9.9	5.0	3.6	6.0
		70 歳以上 (n= 225)	63.9	71.0	41.2	42.7	12.5	5.1	2.7	3.5	10.2
障害の有無別	障 害 あ り (n= 563)		69.3	61.3	48.5	46.7	13.7	8.3	5.7	5.5	8.0
	障 害 な し (n=2,283)		70.5	61.1	56.5	50.8	14.9	13.6	5.4	4.9	2.5
要介護者の有無別	い る (n= 144)		69.8	62.9	55.4	50.4	13.0	13.6	6.4	4.7	3.3
	い な い (n=1,100)		70.2	60.7	55.0	50.0	14.8	12.2	5.3	5.1	3.6
未就学児の有無別の	男 性	あ り (n= 194)	66.7	59.7	63.9	48.6	10.4	12.5	6.3	5.6	2.1
		な し (n=1,339)	70.5	60.4	55.9	51.2	16.1	11.8	6.3	6.2	3.0
	女 性	あ り (n= 361)	69.1	61.9	62.4	45.4	11.3	16.0	5.7	1.0	3.6
		な し (n=2,468)	71.1	61.8	52.3	49.5	14.4	12.8	4.7	4.6	4.0
エリア別	北 海 道 ・ 東 北 (n= 386)		68.4	67.9	51.6	54.9	16.3	15.8	4.4	2.6	2.6
	関 東 甲 信 越 北 陸 (n=1,163)		72.2	59.6	57.3	49.9	13.5	12.1	4.4	3.9	3.4
	中 部 (n= 377)		70.0	61.0	57.3	47.7	15.1	9.8	3.7	5.3	4.2
	近 畿 (n= 422)		73.2	57.6	52.6	48.3	13.3	10.4	4.7	4.3	5.2
	中 国 ・ 四 国 (n= 245)		64.9	58.0	52.2	51.8	14.7	15.1	10.2	9.0	4.1
九 州 (n= 318)		65.1	64.5	50.3	47.5	17.6	12.9	10.1	9.4	2.2	
都市規模別	大 都 市 (n= 587)		74.4	60.6	58.3	48.9	14.8	12.3	5.5	3.7	2.2
	地 方 都 市 (n= 727)		71.1	60.5	54.3	53.9	14.4	12.1	4.8	5.0	2.5
	小 都 市 A (n= 670)		69.6	59.7	54.9	53.1	15.8	11.9	4.8	6.3	3.4
	小 都 市 B (n= 650)		68.5	63.1	53.8	44.0	13.1	12.9	6.8	5.2	4.9
	過 疎 地 域 (n= 277)		64.3	61.0	49.1	48.0	15.2	13.4	5.8	4.0	6.9

(3) まちづくりで重点的に進めること (問12)

重点的にバリアフリー化の必要のあるまちづくりとしては、「歩道等歩行空間」が82.7%と最も多く、次いで「公衆トイレ」52.8%、「商店街」44.9%、「都市公園等」15.0%、「水辺・海辺の空間」7.3%と続いている(図表Ⅱ-4-3-①)。

性別にみても、上位3位の順位は変わらない(図表Ⅱ-4-3-②性別)。

性・年代別にみると、30代の男性だけ「商店街」が2位に挙げられており、2位と3位の順位が入れ替わっている(図表Ⅱ-4-3-②性・年代別)。

障害の有無別にみても、上位3位の順位は変わらない(図表Ⅱ-4-3-②障害の有無別)。

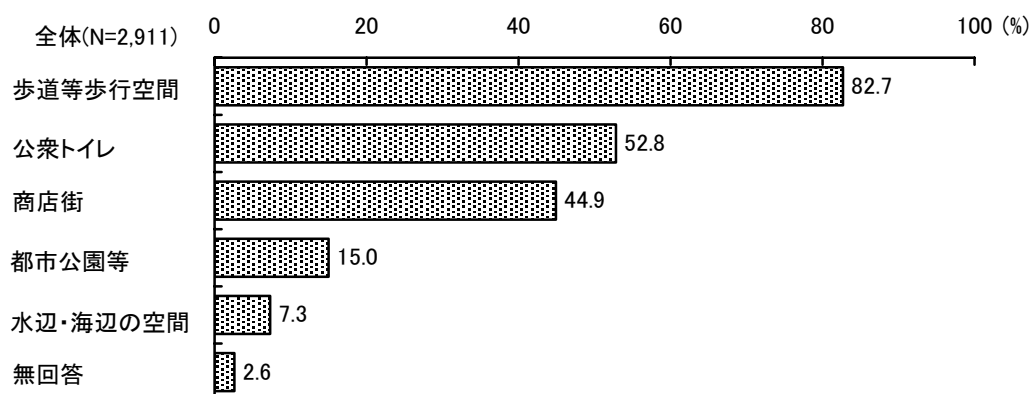
要介護者の有無別にみても、上位3位の順位は変わらない(図表Ⅱ-4-3-②要介護者の有無別)。

性・未就学児の有無別にみても、上位3位の順位は変わらない(図表Ⅱ-4-3-②未就学児の有無別)。

エリア別にみると、北海道・東北だけ2位に「商店街」が挙げられており、2位と3位の順位が入れ替わっている。その他のエリアでは上位3位の順位は変わらない(図表Ⅱ-4-3-②エリア別)

都市規模別にみても、上位3位の順位は変わらない(図表Ⅱ-4-3-②都市規模別)。

図表Ⅱ-4-3-① 重点的にバリアフリー化を進めて欲しいまちづくりの種類(全体)



図表Ⅱ-4-3-② 重点的にバリアフリー化を進めて欲しいまちづくりの種類
(全体、性別、性・年代別、障害の有無別、要介護者の有無別、未就学児の有無別、エリア別、都市規模別)

			歩道等歩行空間	公衆トイレ	商店街	都市公園等	水辺・海辺の空間	無回答
全		体 (N=2,911)	82.7	52.8	44.9	15.0	7.3	2.6
性別	男	性 (n=1,271)	80.8	51.1	44.6	17.2	9.5	2.7
	女	性 (n=1,584)	84.8	54.2	45.0	13.3	5.7	2.2
性・年代別	男	20代 (n= 118)	80.5	55.1	46.6	8.5	11.0	2.5
		30代 (n= 173)	81.5	42.2	49.7	18.5	11.6	2.3
		40代 (n= 190)	81.6	47.9	43.7	17.4	10.0	1.6
		50代 (n= 307)	82.4	52.9	49.3	14.4	8.6	2.2
		60代 (n= 205)	81.4	50.5	41.0	21.5	8.5	2.9
		70歳以上 (n= 557)	76.6	57.6	39.0	18.0	9.3	4.4
	女	20代 (n= 157)	84.1	55.4	44.6	12.1	8.3	0.6
		30代 (n= 246)	85.4	51.2	49.6	16.3	6.1	0.4
		40代 (n= 281)	89.0	52.7	49.1	11.4	4.6	1.4
		50代 (n= 341)	87.7	57.5	41.9	13.8	4.4	0.6
		60代 (n= 302)	82.1	53.3	46.7	11.6	6.6	3.0
		70歳以上 (n= 225)	79.6	54.5	38.8	13.7	5.5	7.1
障害の有無別	障害あり (n= 563)	76.9	57.9	36.9	17.1	7.5	4.1	
	障害なし (n=2,283)	84.3	51.9	46.8	14.7	7.1	2.1	
要介護の有無別	いる (n= 144)	81.7	56.5	41.0	16.6	9.4	1.7	
	いない (n=1,100)	82.9	52.4	45.6	14.8	6.8	2.7	
未就学児の有無別	男性	あり (n= 194)	78.5	49.3	43.1	23.6	8.3	4.2
		なし (n=1,339)	81.1	51.4	44.8	16.3	9.7	2.5
	女性	あり (n= 361)	82.0	50.0	45.4	19.1	8.2	1.5
		なし (n=2,468)	85.5	54.8	44.9	12.5	4.9	2.4
エリア別	北海道・東北 (n= 386)		82.9	47.7	51.6	13.7	7.5	2.1
	関東甲信越北陸 (n=1,163)		83.7	50.3	46.6	15.7	6.6	2.8
	中部 (n= 377)		80.6	52.8	47.2	15.4	7.2	2.9
	近畿 (n= 422)		82.2	60.9	32.7	14.7	7.1	3.1
	中国・四国 (n= 245)		82.9	59.2	41.6	13.1	7.8	2.9
	九州 (n= 318)		81.8	52.2	46.2	15.4	9.7	0.9
都市規模別	大都市 (n= 587)		85.9	50.1	43.8	16.2	5.3	2.0
	地方都市 (n= 727)		82.8	51.4	47.6	13.9	8.0	2.2
	小都市 A (n= 670)		83.4	52.4	48.2	14.6	7.2	1.3
	小都市 B (n= 650)		80.6	54.5	42.2	16.0	7.2	3.4
	過疎地域 (n= 277)		79.1	58.8	38.3	14.1	10.5	5.8

(4) 情報・各種製品で重点的に進めること（問13）

重点的にバリアフリー化の必要のある情報・製品としては、「新聞・書籍・雑誌」が44.1%で最も多く、次いで「テレビ等における字幕放送、解説放送」41.4%、「家電製品等の取扱説明書」38.1%、「日用雑貨・家具等の生活用品」36.2%、「パソコン、携帯電話、FAX等の情報・通信機器」33.3%と続いている。（図表Ⅱ-4-4-①）。

性別にみると、女性は3位が「日用雑貨・家具等の生活用品」、次に「家電製品等の取扱説明書」となり、全体の3位、4位と順位が入れ替わっている（図表Ⅱ-4-4-②性別）。

性・年代別にみると、男女とも年代によって順位がかなり入れ替わっている。男性の20代では「新聞・書籍・雑誌」の順位が5位に下がること、男性の40代では「パソコン、携帯電話、FAX等の情報・通信機器」が最も多く、次に「情報通信機器の取扱説明書」であること、女性の20代～40代では「日用雑貨・家具などの生活用品」が最も多くなることが特徴的である（図表Ⅱ-4-4-②性・年代別）。

障害の有無別にみても、上位3位の順位は変わらない（図表Ⅱ-4-4-②要介護者の有無別）。

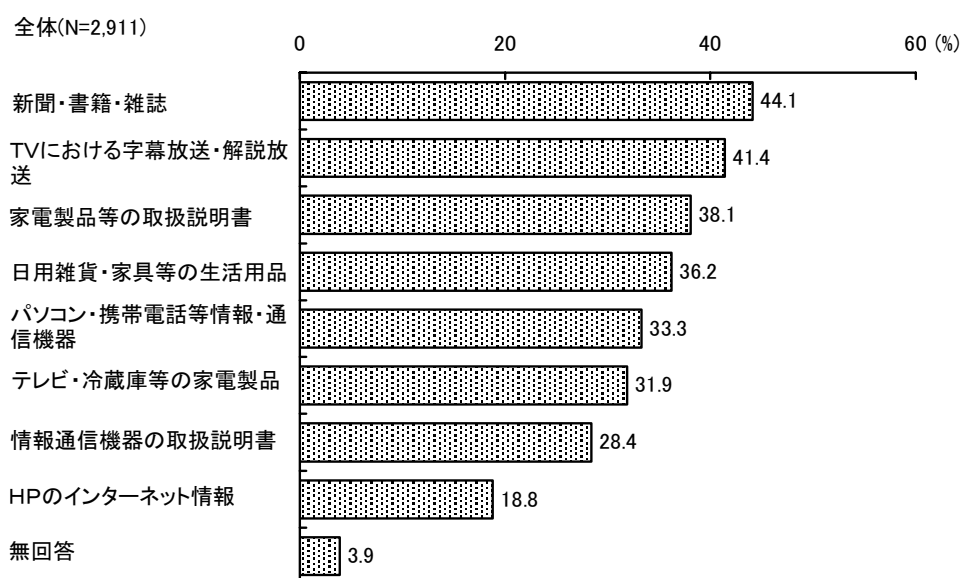
要介護者の有無別にみると、いるの場合3位に「日用雑貨・家具などの生活用品」が入っている（図表Ⅱ-4-4-②要介護者の有無別）。

未就学児の有無別にみると、女性・ありの順位が大きく変わり、「日用雑貨・家具などの生活用品」が最も多く、次いで「パソコン、携帯電話、FAX等の情報・通信機器」が入っている（図表Ⅱ-4-4-②未就学児の有無別）。

エリア別にみると全エリアで1、2位の順位は変わらないが、中部や中国・四国で3位と4位が入れ替わっている（図表Ⅱ-4-4-②エリア別）。

都市規模別にみると過疎地域だけ1位、2位が入れ替わり、3位に「日用雑貨・家具などの生活用品」が入っている（図表Ⅱ-4-4-②都市規模別）。

図表Ⅱ-4-4-① 重点的にバリアフリー化を進めて欲しい情報・各種製品の種類（全体）



図表Ⅱ－４－４－② 重点的にバリアフリー化を進めて欲しい情報・各種製品
(全体、性別、性・年代別、障害の有無別、介護者の有無別、未就学児の有無別、エリア別、都市規模別)

(%)

		新聞・書籍・雑誌	T解説V放送における字幕放送・	家電製品等の取扱説明書	日用品・雑貨・家具等の生活	パソ・通信機器・携帯電話等情	製品・テレビ・冷蔵庫等の家電	情報通信機器の取扱説明	H報Pのインターネット情	無回答	
全 体 (N=2,911)		44.1	41.4	38.1	36.2	33.3	31.9	28.4	18.8	3.9	
性別	男 性 (n=1,271)	43.8	41.2	37.7	32.4	34.5	31.2	30.5	22.3	3.8	
	女 性 (n=1,584)	43.9	41.5	38.6	39.5	32.8	32.4	27.0	16.4	3.8	
性・年代別	男 性	20 代 (n= 118)	33.1	40.7	35.6	33.1	41.5	31.4	31.4	35.6	1.7
		30 代 (n= 173)	42.8	39.9	32.9	35.8	37.6	32.9	31.2	21.4	2.3
		40 代 (n= 190)	35.8	33.2	36.8	36.3	41.1	31.6	37.4	25.3	1.1
		50 代 (n= 307)	42.8	40.3	38.1	32.0	38.1	30.6	31.7	21.9	4.0
		60 代 (n= 205)	48.5	40.4	40.7	30.0	30.3	28.7	30.3	21.5	4.9
		70 歳以上 (n= 557)	52.7	52.7	38.5	29.8	23.4	33.7	22.0	14.6	6.8
	女 性	20 代 (n= 157)	36.3	34.4	30.6	45.2	40.8	37.6	29.3	21.0	1.9
		30 代 (n= 246)	32.1	32.1	36.6	44.7	43.5	32.1	34.1	21.1	0.8
		40 代 (n= 281)	34.2	40.6	34.5	41.3	41.3	34.5	29.5	20.3	2.8
		50 代 (n= 341)	46.0	44.9	34.3	39.6	36.1	29.6	30.5	19.4	2.1
		60 代 (n= 302)	57.6	43.0	44.0	35.4	23.8	29.8	19.5	10.6	6.3
		70 歳以上 (n= 225)	51.8	49.8	49.4	33.7	14.1	34.1	20.0	7.5	8.2
障害の有無別	障 害 あ り (n= 563)	49.4	44.9	40.9	36.1	25.4	32.7	22.2	14.7	6.7	
	障 害 な し (n=2,283)	43.0	40.6	37.3	36.3	35.5	31.6	29.9	20.0	3.2	
要介護の有無別	い る (n= 144)	43.8	43.5	35.2	41.8	34.6	37.7	26.6	13.9	2.5	
	い な い (n=1,100)	44.2	40.9	38.5	35.6	33.5	31.0	28.8	19.7	4.1	
子ども有無別	男 性	あ り (n= 194)	47.2	41.7	34.0	33.3	32.6	34.7	22.9	22.2	2.8
		な し (n=1,339)	43.5	41.4	38.3	32.2	35.0	30.6	31.6	22.5	3.9
	女 性	あ り (n= 361)	36.6	34.5	35.6	44.8	40.2	29.4	29.9	12.4	3.6
		な し (n=2,468)	45.0	42.6	38.8	39.1	32.0	33.2	26.2	17.2	3.7
エリア別	北 海 道 ・ 東 北 (n= 386)	44.3	41.5	39.6	33.9	34.7	28.5	33.4	18.1	3.6	
	関 東 甲 信 越 北 陸 (n=1,163)	41.2	39.8	38.7	36.4	34.8	33.4	27.6	19.0	4.2	
	中 部 (n= 377)	50.1	43.5	36.6	37.1	33.2	32.4	26.8	15.9	3.2	
	近 畿 (n= 422)	42.7	42.4	38.2	37.4	29.6	30.1	30.1	19.2	4.3	
	中 国 ・ 四 国 (n= 245)	47.8	42.9	32.2	35.9	31.4	33.5	24.5	19.2	5.3	
	九 州 (n= 318)	46.2	42.1	39.9	36.2	32.7	30.8	28.3	21.7	2.5	
都市規模別	大 都 市 (n= 587)	40.9	40.2	38.5	35.8	34.6	32.2	31.2	19.8	3.7	
	地 方 都 市 (n= 727)	44.2	41.3	39.2	38.7	32.0	32.3	29.0	18.0	2.8	
	小 都 市 A (n= 670)	47.0	39.9	38.4	35.8	34.0	33.9	27.0	18.8	3.4	
	小 都 市 B (n= 650)	45.5	42.9	37.4	34.5	33.1	29.1	28.8	18.9	4.3	
	過 疎 地 域 (n= 277)	40.1	44.4	35.0	36.1	32.9	31.8	23.8	18.8	7.6	